

令和7年長浜市議会定例会  
令和8年2月特別議会  
市長提案説明

令和8年2月6日

## 議案説明

- ・ 補正予算      3 議案（議案第 1 号～第 3 号）

本日ここに、令和8年2月特別議会の開会にあたり、議員の皆様方には、ご参集を賜り、厚くお礼申し上げます。

それでは、提案いたしました議案につきまして、ご説明申し上げます。

議案第1号は、令和7年度一般会計の補正予算で、総額6億2,900万<sup>よ</sup>余円の追加補正であります。

主な内容としましては、高市内閣の「『強い経済』を実現する総合経済対策」において、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するための交付金が拡充されたことを踏まえ、本市においても速やかに物価高対策を実施するため、早期に着手が必要な事業にかかる予算を計上しております。

今議会に提案いたします物価高対策事業のうち、市民生活や地域経済への影響が大きい主な事業は、順に、デジタルクーポン事業「ながはま割」第2弾、上下水道使用料の基本料金の減免、大学生等生活応援給付金の3点であります。

まず、「ながはま割」第2弾は、市内の小売・飲食・サービス業等の幅広い店舗で利用できるデジタルクーポンを発行し、物価高の影響が長期化する中で増大する家計負担を軽減するとともに、市内事業者の売上確保にもつなげる事業です。事業費は5億円であります。割引は最大40%とし、購入額1,000円ごとに400円クーポンを利用できる仕組みを基本として、令和8年6月から8月にかけて、一定期間の実施を想定しております。市内の事業者に、できる限り早期に需要が波及するよう、準備を進めてまいります。この規模は事業費、利用期間とも第1弾の約2倍となります。

次に、長浜市の経済対策では初めての取り組みではありますが、上下水道使用料の基本料金の減免で、家計負担の軽減を通じて生活者を直接支援するものであります。上水道については、約4万7,200件を対象に、基本料金相当額として5,900円を減免するもので、減免額は約2億7,800万円を見込んでおります。下水道については、公共下水道で約4万件、農業集落排水で約3,900件を

対象に、基本料金相当額として5,404円を減免し、減免額は、公共下水道で約2億1,600万円、農業集落排水で約2,100万円を見込んでおります。上下水道を合わせた減免規模は、概ね5億円規模となります。なお、減免の対象期間は、検針の関係も踏まえ、10月から翌年1月までの検針分4か月分を想定しており、実施に当たっては料金システムの改修等が必要となることから、関係する経費を併せて計上しております。

次に、大学生等生活応援給付金は、物価高の影響を受けやすい若年層の生活を支えるため、申請日時点で大学等に在学し、住民基本台帳に一定期間以上記載のある方を対象に、一律2万円を給付するものであります。対象見込みは約4,500人、事業費は約9,100万円であります。令和8年2月から制度の周知を行い、4月から申請受付を開始し、随時審査・支給を行う予定としております。

このほか、物価高対策として、地方路線バス運賃の電子決済導入支援を実施いたします。これは、地方路線バスの

運行事業者に対し、車載器等の導入経費を支援するもので、事業費は2,445万円であります。運行事業者の事務負担軽減や利便性向上を通じて、地域公共交通の維持につなげてまいります。

これらの事業につきましては、事業期間を確保するためくりこしめいきょひ繰越明許費を設定しております。

また、くにけん国県の補助採択により予算の追加計上が必要になったものについて予算措置を講じ、併せてくりこしめいきょひ繰越明許費を設定しております。

以上の財源といたしまして、くにけん国県支出金、繰入金、繰越金、じゅうとう市債を充当し、収支の均衡を図っております。

次に議案第2号は農業集落排水事業特別会計の補正予算、議案第3号は公共下水道事業会計の補正予算です。先ほど申しあげました物価高対策事業である下水道基本料金の減免を実施するため、システム改修に係る長浜水道企業団への負担金について、債務負担行為を設定するものです。

なお、物価高対策につきましては、今議会に提案いたしました事業のほか、準備を進めているものについては今後

速やかに提案してまいりたいと考えております。

以上、本日ご提案申しあげました議案につきましては、国における予算措置を踏まえての提案となりますが、物価高に苦しむ市民の皆様可能な限り速やかに対策措置を講じるものです。準備が整い次第、速やかに進めてまいりたいと考えておりますので、なにとぞ、早急なるご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます。